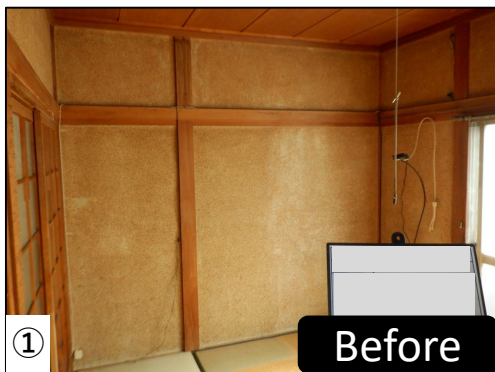


## 毎日安心できる暮らしを リーズナブルに

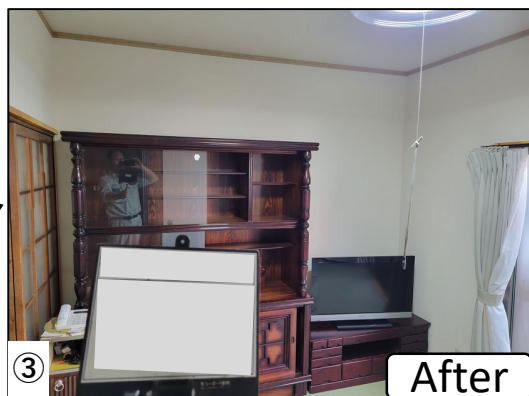
耐震改修工事費	約210万円
耐震改修設計費	約32万円
工事年度	2022年度
延床面積・築造年・階数	75.35㎡・昭和49年・2階建て



Before



②



After



工期

約**30**日

※工事費については、耐震改修工事のみ。  
工期はリフォームを含みます。

### 【所有者のコメント】

築年数が古いため、数年前に耐震診断を受けたところ倒壊の危険ありと判定された。古い建物にお金をかけて直すべきか躊躇していたが、低コスト工法があること、補助金が利用できることを知り、耐震改修をお願いした。

工事費用をだいぶ抑えることができたので、その分、断熱リフォームに使うことができた。また、工事中は部屋を移動して住みながらできた。

耐震性が上がったため、安心して過ごすことができるので耐震改修を行ってよかった。

### 【業者からのコメント】

改修する部屋を軸に耐震補強計画を行い、工事を細分化することで費用や工事期間中の生活環境の負担を軽減するよう配慮した。低コスト工法を利用することで、天井と床下への施工は最小限で済んでいるため、所有者への負担軽減となりよかったと思う。

低コスト工法を採用することで、補強箇所を分散でき、バランスのよい計画が可能になると思う。

「必要なところだけ」  
 合理的な考え方が、施主の負担を減らします。

耐震改修工事費	約132万円
耐震改修設計費	約33万円
工事年度	2021年度
延床面積・築造年・階数	96.89㎡・昭和50年・2階建て

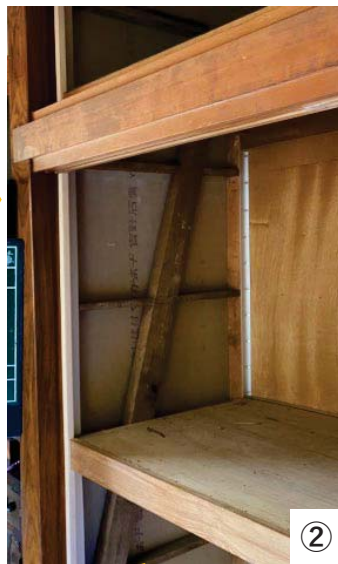


工期短縮!

44日 → **25日**



①



②



③

押入れの天井、床、棚を残したまま最小限の壁を改修することで、工事費、工期を抑えることができます。

#### 【所有者のコメント】

予算も限られていたが、費用が安く、補助金が出るということで予算の範囲内に収まったため、改修工事に踏み切れた。

物の移動もあまりなく、カバーとかで済んだところもあった。カバーなども業者が丁寧にしてくれたので、家主の負担はなく、生活の支障はなかった。

工事する中で直したい部分も出て、併せてリフォームもできた。（※リフォームは補助対象外になります）

#### 【業者からのコメント】

天井・床を壊さない分、傷つけないように配慮した。工期が短く済む分、一時的に別の住まいを確保してもらう手間を省くことができ、生活の支障にならなかったことは良かったと思う。

また、施主が生活しながらの工事が可能なので、工事中に確認したいことがすぐ確認できたので良かった。

4

韮崎市 S邸

0.59


 評点  
UP

1.25

# リフォームするなら安全性も向上させませんか

## 建物概要

築造年	昭和44年
階数	2階建て
延べ面積	114.18㎡

一般的な工法の場合


**270万円**

低コスト工法の場合


**195万円**

 補助金 120万円  
 所有者 75万円


耐震改修工事で抑えられた費用を  
 リフォームに充てることができます。

一般的な工法を利用した工期 低コスト工法を利用した工期


**14日**

**5日 -9日**

※ 工事費及び工期は耐震改修工事のみです。  
 リフォームに係る分は含んでおりません。

### 【所有者のコメント】

トイレのリフォーム工事を、業者に依頼したところ、住宅の年代が古いため、診断を勧められた。  
 診断の結果、倒壊の危険性があったので、リフォーム工事をするならということ、耐震改修工事もお願いした。  
 工事に500万円ほどかかると、改修に踏み切れないが今回の工事費程度で補助金が出るのであれば、改修工事をしようと思えた。

### 【業者からのコメント】

リフォームの依頼があり、住宅を確認したところ旧耐震基準だったので、耐震診断及び耐震化を勧めた。  
 設計時から考慮し、所有者の方に負担をかけないように工事費及び工期を極力減らした。  
 工事費が安くなったことで、その他のリフォームを行うこともでき、所有者の方も喜んでもらったので良かった。



3

甲府市 K邸

0.53

評点  
UP

1.12

負担をかけずに安心できる住まいへ

## 建物概要

築造年	昭和40年
階数	2階建て
延べ面積	130.01㎡

一般的な工法の場合

236万円

低コスト工法の場合

186万円

50万円  
DOWN補助金 100万円  
所有者 86万円

一般的な工法を利用した工期 低コスト工法を利用した工期

12日

7日 -5日

## 【所有者のコメント】

耐震診断で倒壊の危険性が高いと判定され、とても心配だったが、工事費が高いため、なかなか実施に踏み切れなかった。

しかし、市の補助制度や低コスト工法により自己負担が少なく、工期も短期間でできることから、息子の支援もあり改修を実施した。

改修前は日常生活の中でも、地震に対して心配だったが、耐震改修をしたことで、安心することができ、改修してよかった。

## 【業者からのコメント】

施主が高齢なため、なるべく負担（工事費、工期、片付けの手間）を減らすことを設計段階のテーマとした。

1階南の縁側を中心に補強を行い、バランスをとるため北の寝室部分を補強した。寝室部分は外から補強することで、日常生活に支障をきたさないように配慮した。

補強箇所によっては、外側から補強することで普段通り生活しながら、工事を行うことができます。

## リフォームとともに安心な住まいを確保

## 建物概要

築造年	昭和40年
階数	2階建て
延べ面積	181.77㎡

一般的な工法の場合

435万円

低コスト工法の場合

125万円 **310万円  
DOWN**補助金 80万円  
所有者 45万円

一般的な工法を利用した工期 低コスト工法を利用した工期

55日

**20日 -35日**※ 工事費については、耐震改修工事のみ。  
工期はリフォームを含みます。

## 【所有者のコメント】

元々リフォームを予定していたが、古い住宅のため耐震診断したところ、倒壊の危険性が高いと判定された。

概算では、設計費と改修費で490万円だったので、500万円を予算に耐震改修だけ実施しようと考えていたが、工事が安くなる工法があると聞き、お願いした。

実際、工事費がかなり安くなり、予算の浮いた分をリフォームに使うことができたのでとてもよかった。

## 【業者からのコメント】

点検口等がなく、診断時には筋交いの有無が確認できなかったため、金額が大きくなったことが考えられる。

着工した後、壁を壊すと筋交いがあった部分もあったので、費用が抑えられた。

また、耐震改修工事で依頼を受けたが、予算が浮いた分でリフォームまで依頼されたので、業者としても嬉しい。





## 暮らす人の負担を限りなく減らしたやさしい工事

### 建物概要

築造年	昭和56年5月
階数	平屋建て
延べ面積	115.53㎡

一般的な工法の場合

125万円

低コスト工法の場合

62万円

補助金 41万円  
所有者 21万円

63万円  
DOWN

一般的な工法を利用した工期 低コスト工法を利用した工期

21日

10日 -11日

※ 工事費及び工期は耐震改修工事のみです。  
リフォームに係る分は含んでおりません。

### 【所有者のコメント】

年代が古かったため、耐震性が気になっていたところ、耐震診断が無料でできるとのことで診断した。  
耐震改修工事も検討していたところ、工事費が安くなる工法があるとのことで、お願いした。  
工事中であっても自宅で生活することができ、また荷物の移動も補強工事する場所のみでよかったので、手間がからなかった。

### 【業者からのコメント】

耐震診断時、バランスが北西側に寄っていた。そのため、補強箇所を南東側にある一部屋にまとめ、また、低コスト工法を活用したことで、天井や床を壊さず改修工事を行ったことで、施主の負担（工事費、家財の移動、工事中の暮らし）を軽減した。

床を壊さずに壁を張り替え補強